



SWIFT、アジアパシフィック域内外国送金のリアルタイム化を研究開始

シンガポール 2018年4月19日 – SWIFTは、アジアパシフィックにおけるクロスボーダー送金のリアルタイム化についてオーストラリア、中国、シンガポール、タイのgpi参加行と共同で研究を開始しました。

これはgpiをもとにしたアジアパシフィック域での外国送金のリアルタイム化を目指すものです。研究開発についてはANZ, Bangkok Bank, Bank of China, China Construction Bank, China Guangfa Bank, Commonwealth Bank, DBS, ICBC, Kasikornbank, NAB, Siam Commercial Bank, UOB and Westpac とSWIFTの共同体制行われます。ワークショップにおいてSWIFTと各参加行は、現在のgpiの枠組みを超えて各国内市場へ深く浸透することにより最終的に域内における全ての銀行顧客にリアルタイムでの外国送金の提供が可能になることには計り知れないメリットがあるという合意に達しました。

この取り組みでは以下のように3段階のフェーズが用意されています。

- 第1フェーズでは域内のgpi参加行同士で外国送金のリアルタイム化のために、新たなリアルタイム用gpiのサブスキームを導入します。既に成功が確立されたSWIFT gpiをベースに、外国送金に要する時間を分単位までに短縮できた実績を生かして、域内gpi銀行間の外国送金リアルタイム化を実現します。
- 第2フェーズでは被仕向国にgpi準拠の仕組みを導入することで受信されたgpi送金がリアルタイムで国内の市場で処理されることを目指します。これにより4カ国においては銀行顧客の口座がgpi参加行であるまたはSWIFTに接続していることすら関係な、くリアルタイム外国送金を実現することを目指します。
- 第3フェーズではSWIFT gpi経由による国内リアルタイム送金システムへの接続を目指します。これにより外国送金のリアルタイム化が完全に実現され、依頼人も受益者もリアルタイム送金を利用できるようになります。フェーズ2同様銀行顧客の口座がgpi参加行であるあるいはSWIFTに接続していることを条件とはしません。

SWIFT Asia PacificのManaging DirectorであるEddie Haddadは以下のように述べています。「この地域での国内送金システムのリアルタイム化の流れを踏まえると、SWIFT gpiの拡張による域内外国送金のリアルタイム化と銀行顧客のニーズへの対応は自然な流れと言えます。その意味でSWIFTはユニークな立場にあり、既存のインフラ投資を生かしてユーザーの手助けをすることができます。アセアン地域の更なる統合を促進するという意味でも、域内貿易の更なる効率化のためにもマルチマーケットに対する接続方法の標準化が有効になるでしょう」

ワークショップに続きSWIFTと参加銀行は外国送金リアルタイム化に共通するスキームの定義づくりを開始し、それを利用して銀行が検証とテストを実施します。この新しいサービスのデザインは既存SWIFT gpiのサービスルール上に開発され、決済チェーンに求められる追加的な業務機能を支えます。同時にSWIFTはオーストラリアのNew Payment Platform (NPP)とも議論を開始し、SWIFT gpiによる送金がオーストラリア国内でNPPを通じて処理できることを検討しています。

NPPはSWIFTがそのデザイン・構築・実装に関係し、NPPの基盤運用についてもSWIFTは深く関与しています。

2017年にスタートしたgpiはSWIFTを通る外国送金の10%近くを占めるに至っており、日々1,000億米ドルに相当する送金の安全な処理を提供しています。現在世界トップ50行のうち48行を含む世界で160の銀行に採用され、350の国別ルートに日々数十万件の送金を実施されています。そのなかでも北米・中国ルートでは30%以上にgpiが利用されています。

前述Eddie Haddadは以下のようにも述べています。「既にSWIFT gpiは外国送金の所要時間を分単位・秒単位に短縮しており、半数は30分以内に取りが完了しています。今回の取り組みは送金の更なるスピードアップ、gpiの機能の国内決済市場へのより深い浸透を可能にし、域内外国送金に革新的な変化を与えるでしょう。この開発が実装されより多くの国に広がること、新たな銀行が参加することを期待しています」

-####

国際銀行間通信協会（SWIFT）について

SWIFTはメンバーによって保有されたグローバルな協同組合であり、安全な金融メッセージングサービスを提供するリーディングプロバイダーです。SWIFTは金融コミュニティに対し、通信に必要なメッセージングおよびその標準化を支えるプラットフォームのほか、決済ネットワークへのアクセスやシステムの統合・連携、認証、分析、規制コンプライアンス等にかかる製品およびサービスを提供しています。

SWIFTは200を超える国と地域における11,000以上の銀行、証券会社、市場インフラ、事業法人等をつなぐ通信プラットフォーム、および各種製品・サービスを提供しています。SWIFT自体は資金を保有せず、顧客の口座を管理しないものの、グローバル・コミュニティのユーザーに対し、金融メッセージを確実に交換する方法を提供することで安全なコミュニケーションを可能にします。これにより、国内外の金融取引に加え、世界中の貿易と商取引を支えています。

SWIFTは信頼できるプロバイダーとして卓越した運用を絶えず追求し、コミュニティによるサイバー攻撃への対処をサポートします。またコストを軽減し、リスクを削減し、業務の非効率をなくす方法を常に模索しています。当社の製品およびサービスは、コミュニティ内のアクセスと統合、ビジネス・インテリジェンス、参照データと金融犯罪コンプライアンスのニーズをサポートします。またSWIFTは国際・地域・国内レベルで金融コミュニティを取りまとめ、市場慣行の形成やスタンダードの定義、共通の関心分野に関する議論を推進しています。

SWIFTはベルギーに本社を置き、国際的なガバナンスと監督を通じて、組合体制の中立的かつグローバルな特性を発揮します。また、グローバルなネットワークを通じて、すべての主要な金融センターで積極的に活動を展開しています。

詳しくは www.swift.com をご覧いただくか [Twitter: @swiftdcommunity](https://twitter.com/swiftdcommunity) および [LinkedIn: SWIFT](https://www.linkedin.com/company/swift) をフォローしてください。

お問い合わせ:

ウェーバーシャンドウィック SWIFT担当 トウ、岩田

03-5427-7411

swiftjapan@webershandwick.com